

夏秋トマト栽培後のカーバムナトリウム塩液剤処理が ハクサイダニ卵へ及ぼす効果

福島県農業総合センター 生産環境部作物保護科

1 部門名

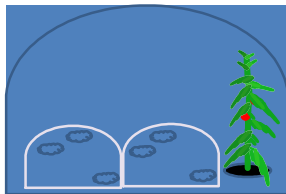
野菜—トマト、シュンギク、その他軟弱野菜—病虫害防除

2 担当者

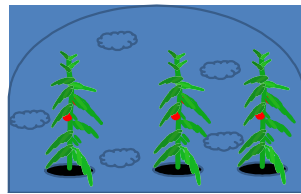
荒川昭弘・山内富士男

3 要旨

ハクサイダニが発生したハウスでは、多数の休眠卵が産みつけられており、翌年続けて栽培すると被害の拡大が懸念される。同ハウスで夏秋トマトを栽培し(5月20定植)、栽培終了後(9月13日)にカーバムナトリウム塩液剤(キルパー)で古株枯死処理(トマトに登録あり)を実施することにより(図1)、ハクサイダニ休眠卵のふ化率が低下し(表1)、後作のシュンギク、コマツナ(11月22日定植)への本種の寄生も少なくなった(図2)。



処理方法1: ハウス内で倒したトマト株に
ビニール被覆後薬剤処理



処理方法2: トマトを倒さずに
ハウスごと薬剤処理

図1 薬剤の処理方法

2013年9月13日にカーバムナトリウム塩液剤(60ml/m²)を50倍に希釈してマルチ内の灌水チューブより注入した。5日後に開放した。

第1表 カーバムナトリウム塩液剤のハクサイダニ卵へのくん蒸効果

| 処理 | 区 | 供試卵数 | 処理50日後 の ふ化率 |
|-------|-----|------|--------------------|
| 処理方法1 | I | 100 | 0 |
| | II | 100 | 0 |
| 処理方法2 | I | 100 | 0 |
| | II | 100 | 2 |
| | III | 100 | 28 |
| 無処理 | I | 100 | 37 |
| | II | 100 | 68 |
| | III | 100 | 75 |

2013年9月13日に薬液処理、5日後に開放した。

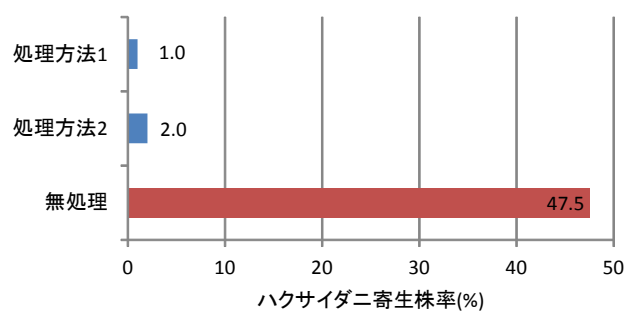


図2 ハクサイダニ卵に対するカーバムナトリウム塩液剤の効果

9月13日に薬剤処理、12月6日に寄主植物への寄生状況を調査した。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～26年度
- (2) 研究課題名 難防除病虫害の防除技術の開発
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

平成25年度センター試験成績概要